

迅速に!! 的確に!! 防災情報を伝えるために

問合せ/危機管理課 防災係 (☎ 27-8111)

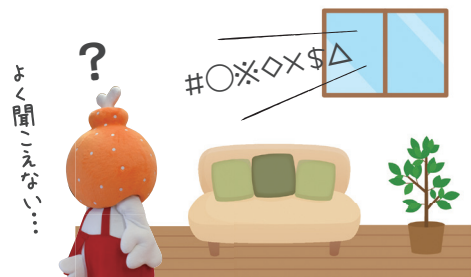
近年、身近なところで大規模な災害が頻発しており、市民のみなさんの安全と安心を確保するためには、いかに迅速かつ的確に防災情報を伝えることができるかが大きな鍵となっています。そこで市では地域の災害特性・地域コミュニティの形成状況・費用などを検証した上で、平成31年度より2カ年計画で、防災行政無線のデジタル化を柱とした新しい防災情報システムの整備事業に取り組みます。

現在の防災無線は…

市が現在使用しているアナログ方式の周波数は平成34年中に使えなくなる



機器の老朽化・家屋の防音性の向上などにより放送内容が聞こえづらい

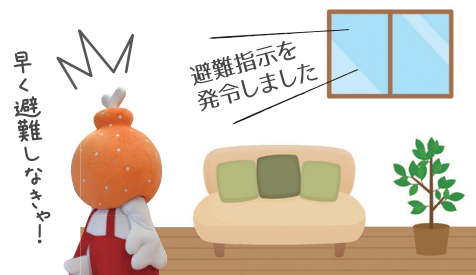


防災情報システムを整備すると!

無線設備のデジタル化により、様々な通信機器へ一斉に情報発信できる



無線設備の性能・機能向上により、放送がより明瞭に聞こえやすくなる



さらに、様々な気象情報や河川水位情報などを収集し、災害の危険度を分析することができるので、的確な避難情報の発信につながります。

情報ネットワーク整備計画

親局（宇佐市役所）



新庁舎に、デジタル化に対応した無線機器（親局）を設置します

遠隔制御装置（各支所、消防本部）



各支所と消防本部に、親局を遠隔操作できる装置を設置し連携を強化します

連携

中継局・子局

台風が
接近中です



津波や土砂災害など地域の災害特性に応じ、スピーカーの機能強化を図りながら難聴地域の解消に努めます

戸別受信機

避難所を
開設します



子局の放送が届きにくい難聴地域の世帯などへの貸与、購入希望世帯への補助制度を構築します

SNS・通信機器

避難勧告
を解除します



市公式 SNS などへの速やかな発信、障がいのある方などに対し固定電話やFAXで通知する仕組みを構築します

防災対策を充実させるために、自助・共助・公助の連携強化を！

防災情報システム（公助）が整備されても、その情報を有効活用し、避難活動へ結びつかせるためには、自分の命は自分で守るという防災意識（自助）や地域で助け合う自主防災組織（共助）が欠かせません。防災情報システムの整備にあわせ、家庭や地域で自助や共助の推進に取り組みましょう。



ご活用ください

暮らしの便利帳

避難行動など防災情報を掲載しています

防災情報システム整備事業者選定【公開プレゼンテーション】

防災情報システムの整備にあたり、事業者を技術提案方式（プロポーザル方式）により選定します。一次審査を通過した事業者の二次審査を公開で開催します。事業者が提案内容を説明し、審査委員が質問などを行います。詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 日時／4月23日(火) 10:30 から（10:00 開場）
 - 場所／市民図書館 視聴覚ホール
- ※定員（100人）を超える場合は入場を制限させていただきます。